

活動報告2017



認定NPO法人大阪自然史センターをご支援いただき、ありがとうございます。
2017年も皆様の応援を強く感じた年でした。1年間のトピックスをご紹介します。
これからも自然を楽しく学び、大切に思う気持ちを育む活動を続けていきます。

大阪自然史フェスティバル2017

384,484円
ご寄付・チャリティ古本市売上
たくさんのご寄付、応援
ありがとうございました

出展団体数は116、入場者数は2日間で2万200人と、盛大なものになりました。はくラボブースではチャリティ古本市を初開催！その売上とご寄付は、フェスティバル運営資金として大切に使わせていただきました。

ミュージアムサービス

4月より、大阪自然史センターによる大阪市立自然史博物館ミュージアムショップの運営再開！グッズ企画開発、イベント出展にも力を入れています。ご来店お待ちしています！
【ネットショップ】<http://omnh-shop.ocnk.net/>

東北応援ワークショップ

東北支援事業、最初の活動地である岩手県山田町。震災から6年半、ついに町立「鯨と海の科学館」が2017年7月15日に再オープン！8月には東北の学生たちとお祝いワークショップを実施。約500名もの来館者数となりました。

大阪市立自然史博物館友の会

自然観察ハイキング、ナイトミュージアム、秋まつり…友の会は1年中、行事がいっぱい！「春の磯で海藻を食べよう！」では、和歌山県の城ヶ崎へ。みんなで海藻を集めて観察したあと、お味噌汁にして食べました。

ワークショップ調査

博物館子どもワークショップ調査事業「はこわっち」がスタート。12月には研修会を開催。全国の現場で活動する皆さんに参加してもらいました。
※本事業は独立行政法人環境再生保全機構の助成を受けて実施しています

子どもワークショップ

自然史博物館・高槻市立自然博物館・五月山動物園で子ども向けワークショップを毎月実施。展示や標本、学芸員さん・飼育員さんのお話を楽しくやさしく伝えています。約10,000名の親子が参加してくれました！

出張ワークショップ

博物館を飛び出して、様々な場所に呼んでいただきました。標本をじっくり見たり工作をしたり。地域のイベントや放課後教室、図書館、病院…どこでもワークショップに伺います！【お問い合わせ】<http://www.omnh.net/npo/>

高槻市立自然博物館

「あくあぴあ芥川」は、赤ちゃんから大人まで高槻の自然がわかる、みんなの博物館です。

大阪自然史センターはNPO法人芥川俱楽部と「あくあぴあ芥川共同活動体」を構成し、高槻市立自然博物館の指定管理者を務めています。

「ハクロトンボしらべ隊」

組織基盤強化研修

博物館との連携を軸に、10年先を見据えた組織の成長と安定を目指して、戦略的な経営を可能にする組織体制づくりと中期計画の策定に取り組みました。

※Panasonic NPOサポートファンド[環境分野]助成事業

関西自然保护機構

現地見学会で「京都大学芦生研究林」を訪ね、芦生生物相保全プロジェクトの現場に触れた後フィールドシンポジウム「芦生天然林の再生を如何に進めるか」を開催。シンポジウム主催や京都府「外来種実態調査」にも協力中。